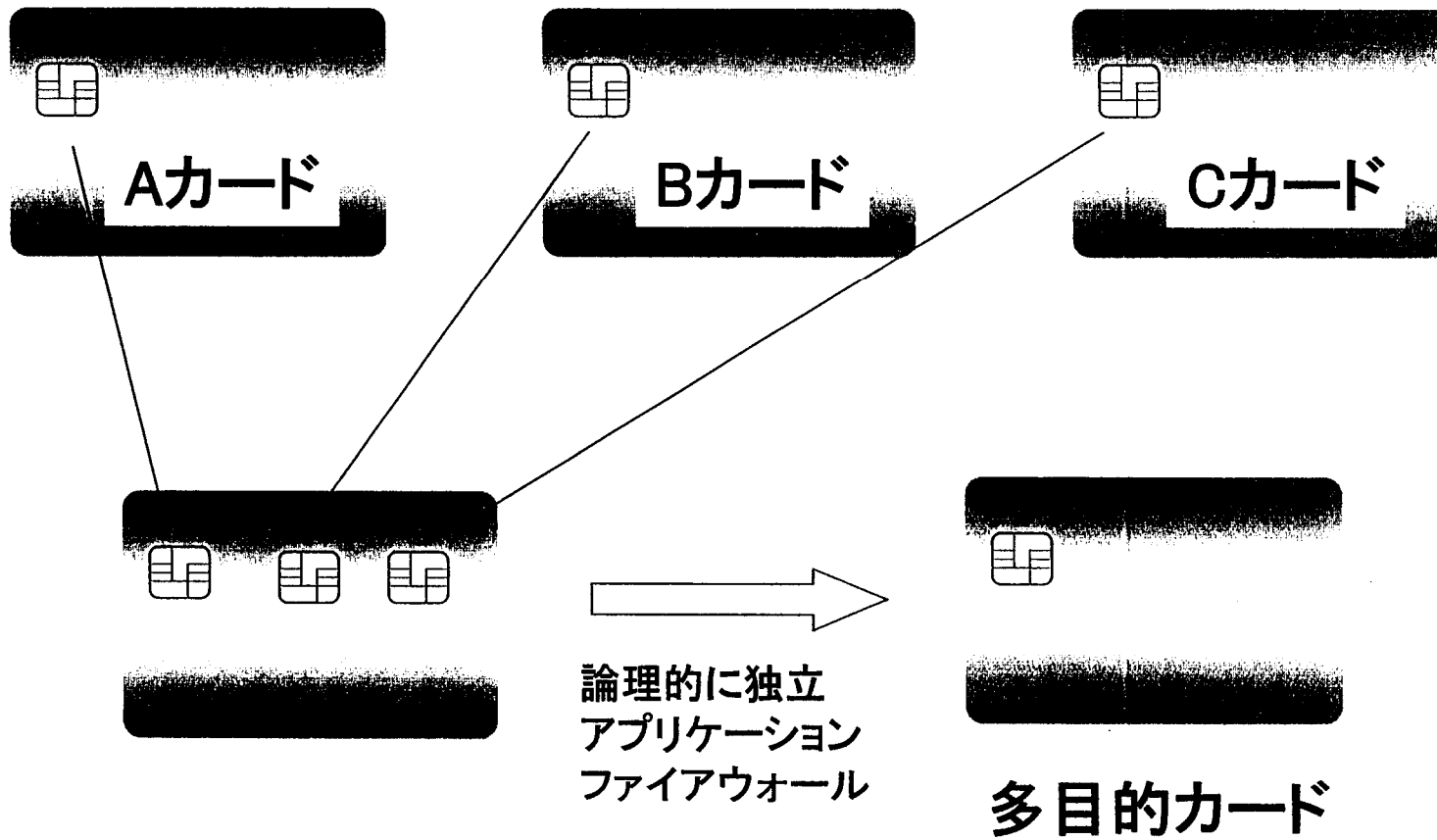
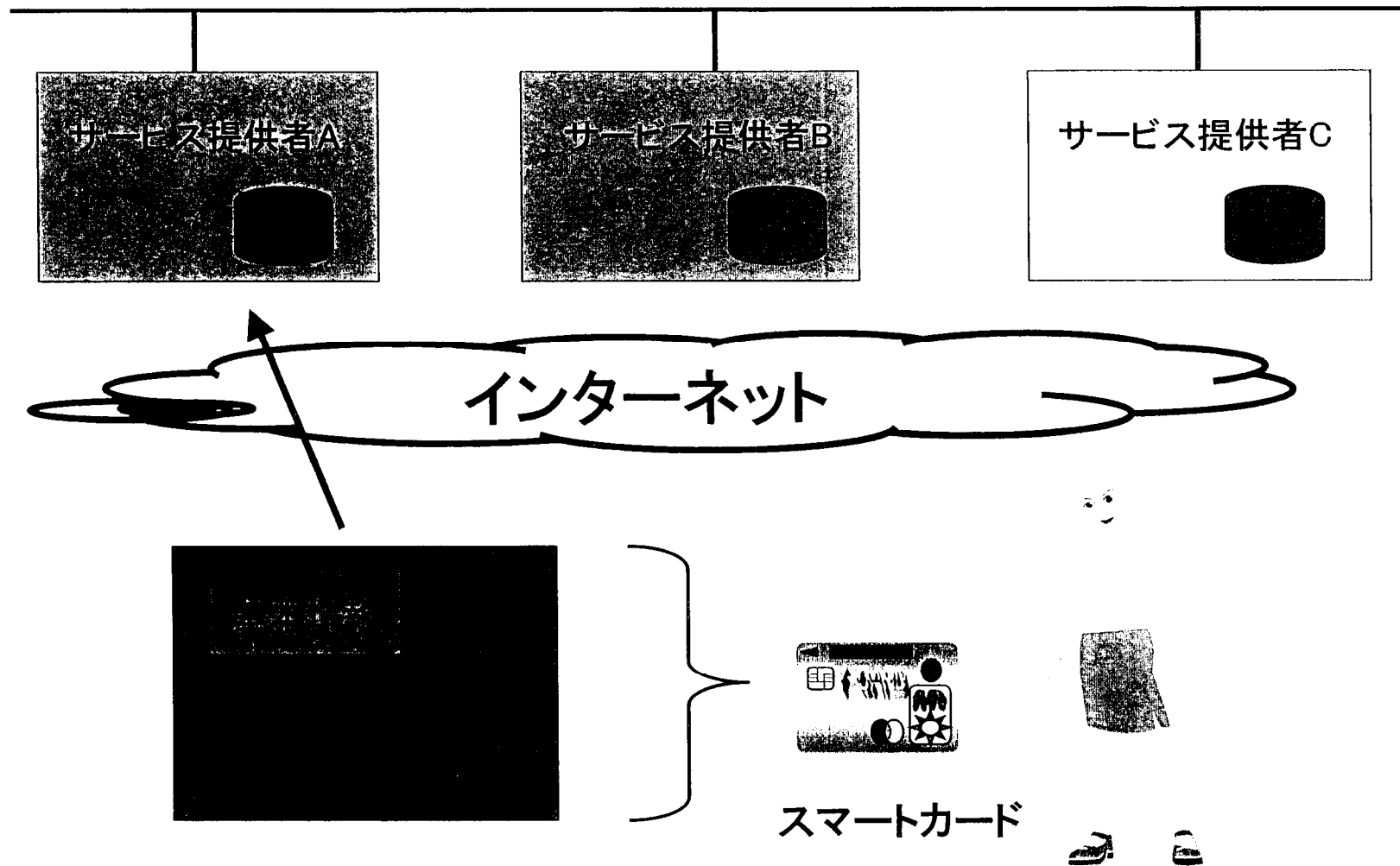


# 多目的カードの概念

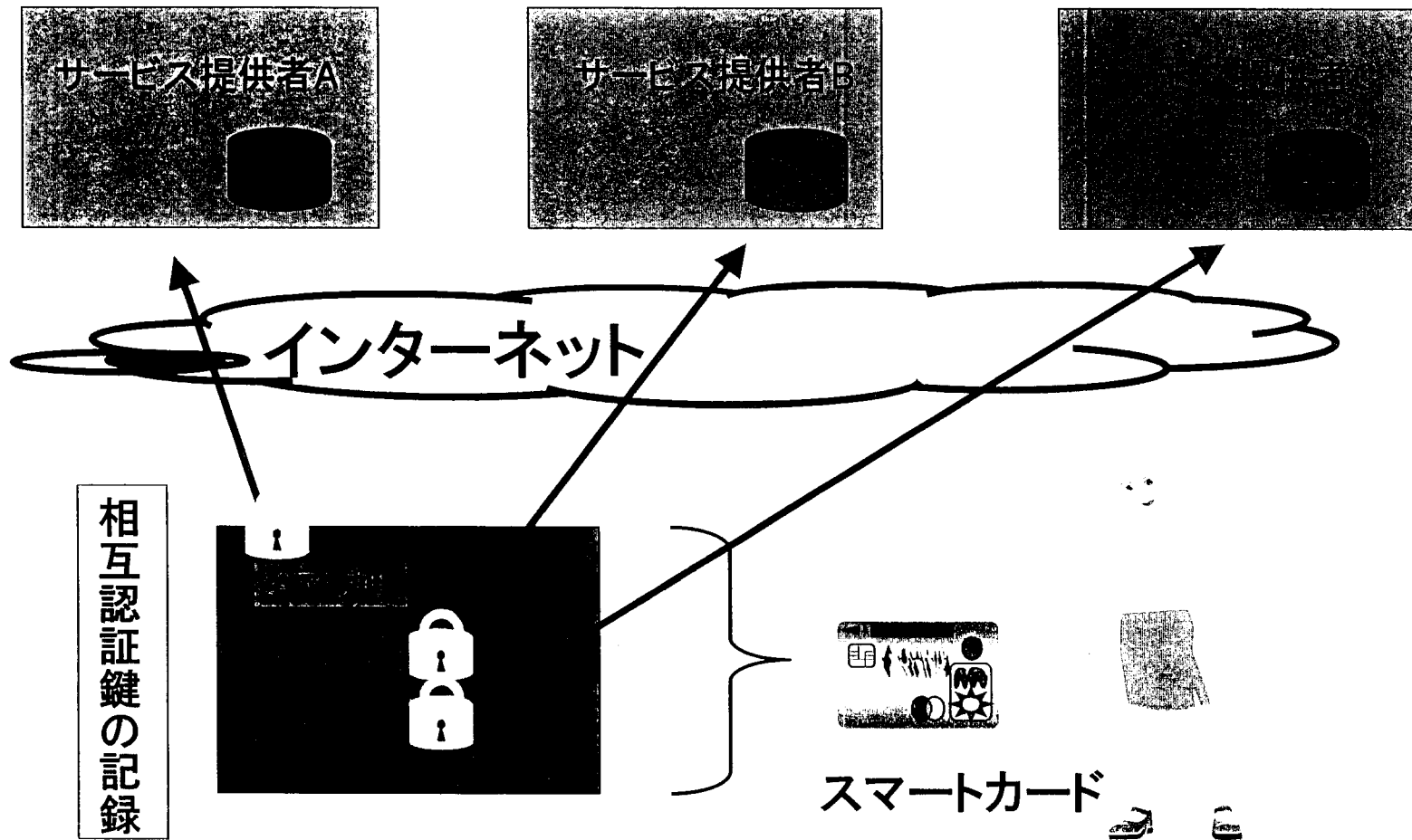


# 集約型システムの例



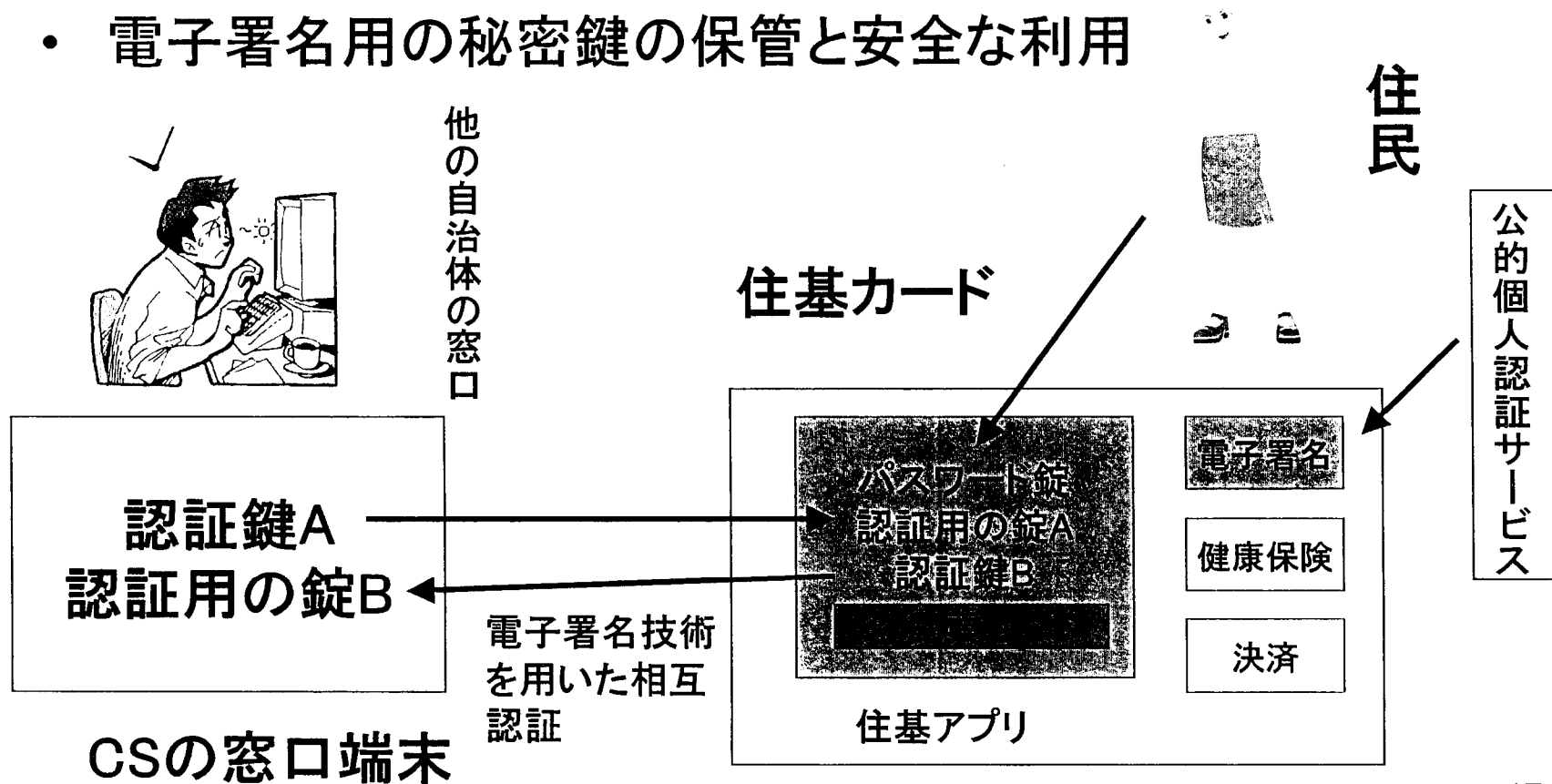
# 分散型システムの例（住基カードシステム）

ネットワーク化をしない



# 住民基本台帳カードについて

- 11桁の住民票コードを記録
- 3つの鍵を用いた十分な安全性の確保
- 電子署名用の秘密鍵の保管と安全な利用



# 「e-Japan戦略－医療－」について

- 健康増進に役立てるための総合的な保健・医療サービスが提供される体制の整備
- レセプトのオンライン化 ⇒ 2004年から
- EBM(Evidence Based Medicine)およびEBH(Evidence Based Healthcare)の推進 ⇒ EBHは経済省が推進
- 医療情報のネットワーク伝送と外部保存の容認 ⇒ VPN
- 資格認証システムの構築 ⇒ 認証局の構築
- 山間僻地・離島への遠隔医療の実現 ⇒ VPN

等

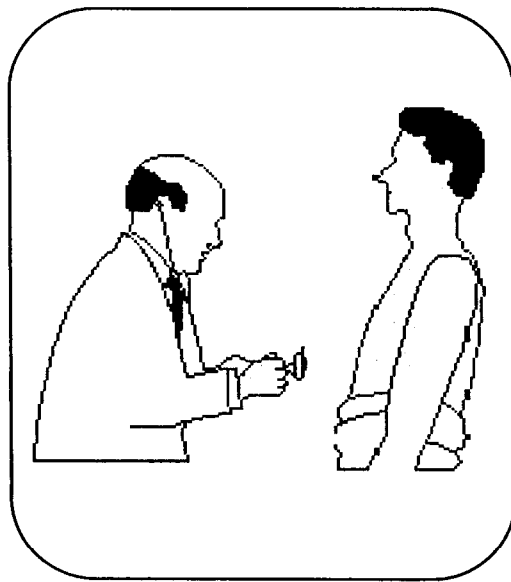
# 医療分野でのIT利用促進

- 目的
  - 医療の質の向上と効率的な医療提供体制の構築に資する
- アクション
  - 処方箋、診断書、出生証明書をはじめとする診療情報の電子化などを包括的に検討する
- 2004年9月までに結論を得る
  - 医療情報ネットワーク基盤検討会の最終報告等を活用する

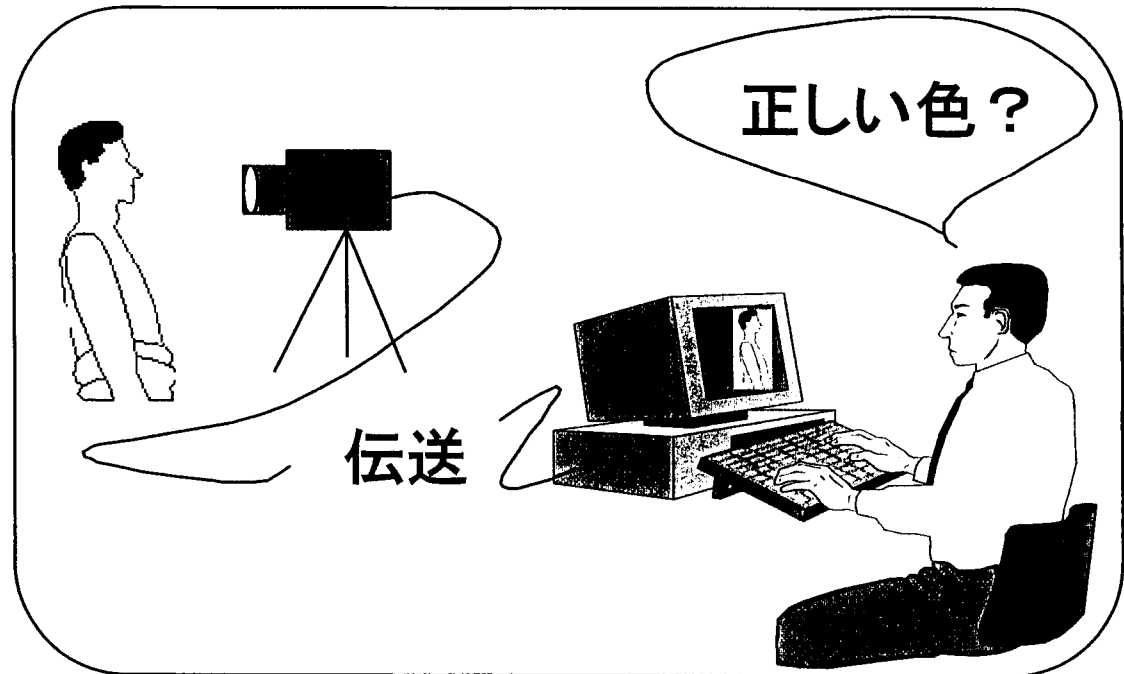
十分なセキュリティの確保が必須

# 顔や肌の色の正確な再現について

- 高齢化社会へ向けた在宅医療、僻地医療の必要性
- ネットワークの普及、画像の高精細化技術の発展



病院での診断

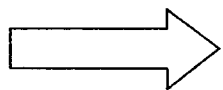


画像通信システムによる遠隔医療診断

# なぜ正確に色再現ができないか

---

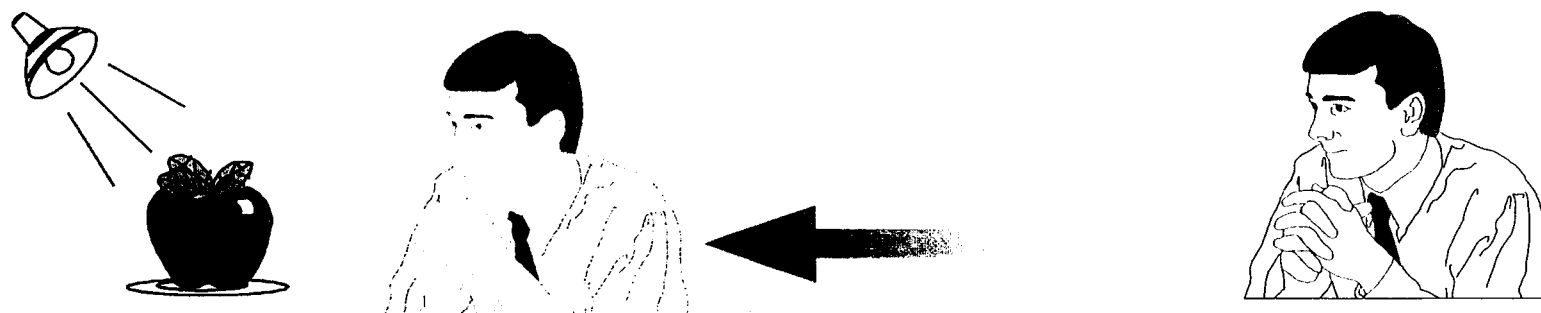
- より美しく見せるように工夫されている
- 正確な再現を目的としていない
- 観察装置から計測装置へ
  - カラーカメラのRGB分光感度が人間の視覚系の分光感度と異なるため正確な色情報を取得できない。
  - CRTなどの表示デバイスの色表示特性の補正が正確に行われていない。
  - 被写体に対する照明光と観察環境の照明光が違う場合に色順応が考慮されていない。



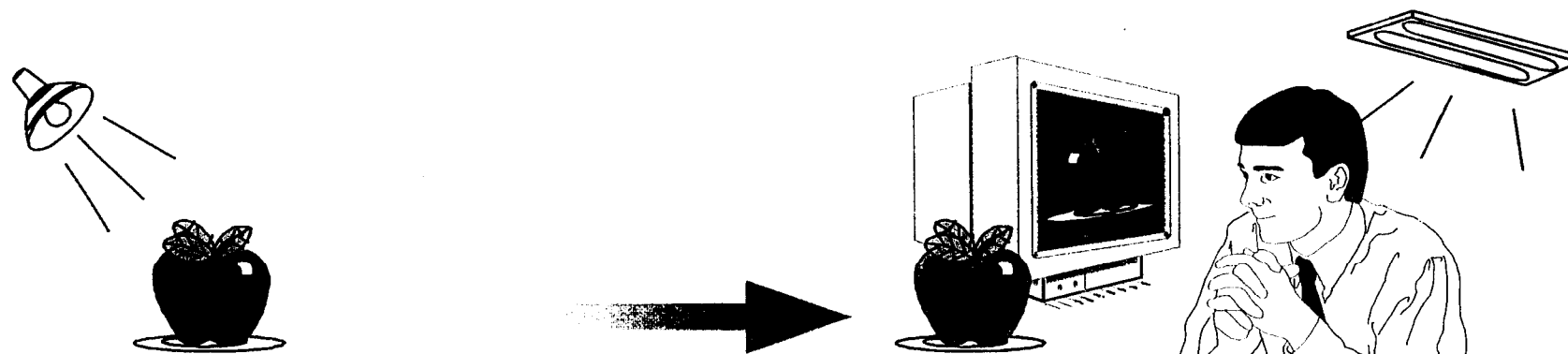
**ナチュラル・ビジョンが解決**



# 色再現の考え方



観察者がその場に行ったときに見える色を再現



対象物が観察者の目の前にあるときと同じ色を再現

# どうやるか？

- デジタルカメラなどの特性を計測
  - 画像処理機能をオフに ⇒ ローデータモード
  - 色票を撮影
- 照明光のスペクトル取得
  - 照明光のタイプと経年変化の状態を確認
- 表示装置の特性を計測
  - 簡易計測器の利用
  - CRT、液晶、プラズマなどの種別確認

# 皮膚科における実験設備





# まとめ

- IT社会に向かって着実に進展している
- 環境整備がきわめて重要
- 本人確認や顔色の再現技術は、既に開発済み
- ニーズが高まれば、商品化される
- 人、機器、情報の相互認証が必要
  - 正当な人が、安全な機器を使って、正しい情報にアクセスできる環境の構築が今後の課題